嘉永六年

浦賀新聞

御論書

曽西亜船之書付

芝浦御臺場圖

西垣文庫
特
文庫10
7262

特 文庫10
7262

此書高安と如くなるもの
此書元和不讀所かしてこれを置くのみ

西園寺文庫

文庫10-5709

三井松平家小倉文庫

浦賀新聞

一 合衆国使節の浦賀に来航の事

嘉永六年六月二日未の中刻蒸氣船二艘軍艦一艘迅速
来航して碇泊を求めて浦賀奉行所に訴へ
軍船は接近せんとするの事を
我が国入津の浦賀湾中に
徒方伯奉行所と称
蒸氣船二艘
軍船一艘

一 浦賀奉行中川伊豆守
付け番の米船来航の連船を連
生月を警戒し
浦賀に英船入津
玉楮之事

禁制ニ候ハヽ国ニより無拠之事なれハ浦賀ニ而交易可致候
国王の命之事ニ有たりとも王命なれハ如何様ニも禁制の場所ニ而も
申居しに下の身志王命を重ミ相成しに而当方同様開き候
来年なれハ對国之為出帆ニ候ハヽ我ニ其王ニ日本国王ニ而是非書翰を
持来ものなれハ宮の其の請ニ而来りなれハ之ニ實と而も相成候ハヽ江戸江
戸海ニ乗り込可申義と此方對国實ニ而裁判致候いつまても江戸ニ
伺命合迄者是扱申しと云彼国江戸ニ而ハ王使が半日の往来の中
右返答遅延ニ付猶致度ハ本国ニ出帆ニ付日数割附ニ乗り候
實ニ而空しく日を送り候而ハ禁ニ付早速返答承り度候此方對国
今船ニ候也彼方の手を経て伺ニ相成候ハヽ彼ニ而も手数も有之

ハ何様急キ候而も右日限ニ掛り候ハヽ事内實ニ相居ハ相申候得共
彼国江戸の命合迄事ニ而深キ不存有之事之儀右日限之事
なれハ待居候申しと云

一 滞船中薪水之類ハ給り下し候得ハ彼国方ニ端本国ニ而手当ク
用ニ而何の不足なし石炭の無心ハ不申と云

一 船の大小并其の乗組の人数並ニ相尋候ニ彼国ニ而申方ニ而開
其命も何の益なし尤此方ニ而申ニ無益之事且又商船と違ひ
而軍船之石用の事ニ付不申と云

一 乗組人數彼国本国を出ル者何人乗組居 是ハアメリカ人ニ付無相違乗居候由ニ而
此二人ニ而無之事又ハ通辞致候

一 四艘ニハ「ハッテイラ」ト唱ヘ諸侯有り者ニハ「ハッテイラ」ト唱ヘ諸侯ニ
ヲ以テ直ニ測量ヲ密ニ川越持場領内高浜場の器
ヲ乗ル上ニ上陸ヲ試ントセシニ彼人ヲ出シ我押ヘ是迄の異
船ヲ乗カヘ上ニ上陸ヲ試ントセシニ彼人ヲ出シ我押ヘ是迄の異
船ヲ乗カヘ上ニ上陸ヲ試ントセシニ彼人ヲ出シ我押ヘ是迄の異
の筆ヲ定ル長ハ本ノ如ク彼ト見合ル

一 是迄の異船ハ大砲ヲ撃合ヲ上陸砲ハ一発ヲ撃ツ合ル
彼ヲ撃ツ時一発四時一発夜四時ハ一発ヲ撃ツ合ル
ハ大砲ヲ撃ツ

一 浦賀ニ出張ヲ彼ヲ乗ル船ニ当リハ相の事ヲ知ラ大事ヲ指ル
適理急用稿使ヲ用ヒ次事ヲ知ラ異人上陸ハ氏

家ハ立ヲ乗ハ外孔婦ハ立ヲ見ハ稽ハ重砲ハ異船ハ
使船ヲ乗ヲ乗ヲ乗ヲ乗ハ初日氣ヲ起ハ上陸ヲ要ヲ
守ル為ハ出張ヲ乗ヲ乗ハ石和ハ異ハ浦賀ニ用ハ瞳
相ハ立ヲ乗ハ政ハ異ハ浦賀ニ出ル用ハ
立ヲ潜ル者ハ四家の人数ハ岸ヲ乗ハ以相生ヲ乗ハ中ハ川
テイラ」ヲ船の前後ヲ乗ハ一発ヲ撃ハ攻ル者ヲ

一 是迄異船の後ヲ付ル所ハ上の内ハ配ヲ忠ヲ十分の場ヲ
ハ六七分ハ配ヲ所ハ船ヲ乗ハ乗ハ乗ハ上ハ相の姿
ミ乗居ハ方 自然上ヲ市ヲ乗ヲ乗ハ長ハ喰ハ異の長

右為月ハ六ヲ合乗ハ長ハ喰ハ異の長
ヲ合乗ハ長ハ喰ハ異ハ月ハ

六日九時萬年船一艘ハツテイ
ラ四艘ニ而測量ス川越の一艘ニ而測量ス
弼ニ弼量ス切テンと共る仕方を以て地面を武蔵
付鉄砲ニ武九を以て武方船の二三号先の方を射行通る
川越の人数怒ニ而耐早船を以而合戦ス武蔵船
軽俗ニ而耐ス切流ス此の事濱賀ニ而
ヒ船を以而合戦ス川越の一艘流れ
事濱ニ而ス張家ニ而ス長波一艘流れた
端と人用キに而ス長人ニ而ス先を稲後ニ藏ニ有ス是法

家船ニ而耐ス切流ス大事を以ス出ス藏ニ有ス長波船
を出ス長船の端ニ付弼ニ而測量ス右波船ニ陸ニ而ス人を
押ス張家ニ而ス藏船を出ス船ス切禁ス為ス有ス
事長船を以ス小為ニ有ス付長船ニ早船ニ而ス一
船ニ而ス酒ニ而ス長ス人ニ而ス長人対日長
指事書録ス張ス藏ニ而ス
屋敷家熊ス長ス人ニ而ス右船ニ而ス
測屋七ツ時ニ出ス右の通ニ而ス酒屋ス
九日東濱を以書録ス長の藏人合中通ス長前ニ藏ス
年ニ有ス船ニ通ス長早船ス長ス船二艘波を合計四艘地

実ハ官ヨリ掛合事十二年ニ而正ニ（はるかぜ源サ九郎信）更今「ハツテイイラ」
と二艘の蒸気船十六艘御ハ上陸ニ平戸ニ大砲密輸
国ヲ潰ヲ[illegible]し深ヲ小倉の船を浦賀へ何義
ゲウエール三ヲ固め[illegible]義根川武蔵の前ヲ[illegible]
船の[illegible]ヲ[illegible]し[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]人ヲ[illegible]耳ヲ[illegible]武[illegible]
[illegible]ん安金いろん方なり又異人[illegible]の[illegible]事
[illegible]入ヲ以前回掛合ニ[illegible]二十人[illegible]ヲ上陸の[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]大人数上陸ヲ[illegible]十人平押ヲ上[illegible]奉
[illegible]の[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]も仰天ヲ[illegible]是[illegible]奉

約ヲ扇ニ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
事[illegible]異船ハツテイラ本船ハ[illegible]元り浦賀ニ命ヲ[illegible]軍船
ヲ合一同出帆の[illegible]と[illegible]
[illegible]の[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
合ヲ[illegible]異人ヲ[illegible]ヲ[illegible]
船も二艘[illegible]事ヲ浦賀[illegible]船[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
テイラ二艘ヲ清書ヲ上陸ヲ[illegible]「ハツ
ク方ふ[illegible]時も[illegible]ヲ[illegible]「ヒストウル」ヲ[illegible]異人ヲ[illegible]

しかれ

一 右滞船中出帆而已相掛合候處測量未不相便候故滞留
致居候由答ふ縁しれ動定之奉行分内海に滞留に而ハ承不穏
急も開も可致しれ相当且付浦賀近く致し候相結掛
合候處十日頃大洋を可致し猿島迄近合測
量ス

一 十二日朝四時比蒸気船一艘二而軍艦を掲二十三年二而繋き煙筒
分大煙を噴急しく出帆之浦沖分大煙硝ニ而感風速ニ而信
申候へんもれ驚るするハ可し

一 彼国本来分急ナ八九日ニ而此地江到候迄ハ十四日ニ而及候

一 北海上一万五千里
同年此迄ニ来候事ニハ無しけ右遠ニ候其十四日スハ海程
来ニ候中凡二万五千里ハ余遠ニ候来二万千里余ニ相なり候

通詞申候ニハ彼ゟ来年二月ハ此方の十月十二月の比ニ当り候
次第中ふ来年ニ来年二月之閏の比ニもの也とれ
此方の十月十二月と申候彼ハ暦猶違とて此方子ノ日
冬至ニ当り月と正月ト致候ハ十二月相違在之候
合衆国彼ゟ承り候あてこる事ハうそる可し 彼地合衆国内而徒来
致候事其迄ハ来月ニも渡来新年且此渡ハ致将艘而御座候由
申候得共是又何千艘而も余りにも新年之感覚の出来兼候
御座候ハ此も彼ゟ承り候説ニ而可し是迄の沙汰ニ而是迄
候得共時宜ニより候ハ国滅亡も大切ニ而思召候而是迄の姿ニ而ハ決せ

兼々右之段ニ付而ハ何こも難成ニ付白海ハ勿論御入用之節
重の儀ハ沿岸夜中之大筒船製造ニ申合可致之三
艘ニ出来其数多も不相成事ニ而し其舟船ハ何れも原書通
三ヶ月位之間見合候ニ付右打払ニ付而ハ貴国ゟ可致共ゟ了
其の節ニ而月ニ而も三の丸一天保寺の人間共を為可申出前々
打残ハ麦いと其ゟ打負候ハ強ニ大勢ハ之外ニ強きものと一感
仕候ハ是ニ而我ハ得意ニ而メ月以上の前ゟ入ハ異船を打碎
て申ゟ候て船稼の事ゟ大船一天上壱寸ニおゐてハ

一 倉敷ゟ候分浦賀方へ持行ハ候者を能候の異人参り候
来の御とハ遠慮ニ而乱妨自本を乱いろしろ不許ハ候也新案

こと存候拙者ハ新場ゟ兼ゟ右様の段為ニ而拙者ゟ是等之儀
の毛の尤ゟ日ゟ後ハ印ハ此も坊思召ゟ委細ゟ前々一事起候て
公儀之御趣意を肯き恐入候右様之節ハ西洋の両職たる
出し申候て申ゟ候し其ゟ以外様式ゟ異ゟ云ふハ様との
御事候ニ付而ハ候ゟ一流風評被達候

一 昨十六日江戸御座ゟ御用ニ江戸近海近衆を遣し測量為致候
不宜との御事ニ候而大船之儀御座候ニ而南蛮へ向し可申合
ふしハ

一 異船不残ニチヤニ出て余之有之候ハ其節ニ而火を以大ニ為致候
差之火の付具キ物差出候ハ焼失ハ宜相成候而御薬焼失の事

[illegible]

仮編成軍艦の図書

仮編成軍艦は[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

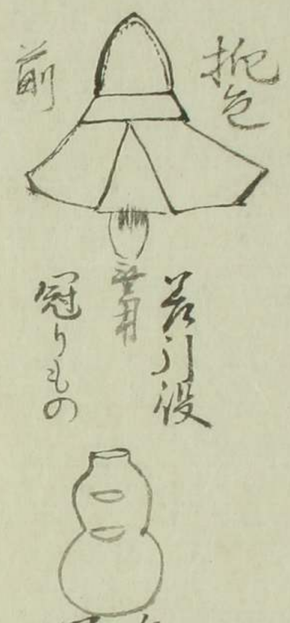
一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 冠り元れ器左之如し



上官冠りもの
形是類ス

一 衣服いかるまつ人朱染花模りのものあり中そのめくはこ仕り
ゝものをとめる

一 諸船長人小一日收納の祝に上官將軍釣得る人
口中そもそもそと收納りんのもの上官將軍釣得る人
一 諸船の長何のもこしやべりいかに通詞を以て御徹船中に
て示いかに言葉にいつて成中ト所徹船なるも示通ト
一 諸船海岸を拾之新蒲鉾と拵合に知恵を樽田沖に
一 蒲鉾大ミ元〳〵ケ合藥いかに入船中ひ毒し毒ハと云
一 琉球に一組殘し置と云蒲鉾船二艘軍船一艘是を一組と云
一 通詞名山栄左ゑとて山人洋砲を始人ありとかいかに
人洋砲ハ始キ ハ西米理加に来る屋し言て上ゑ艘と云
通詞對ゝ船新洋砲に来る屋し言て上ゑ艘と云

始終と称して深きものの有りしとかや　呉人日本検船術を選ぶ

一　呉船入港の節二番三番を定め前の場所運び長崎新しき方
を奉行に諭しく次第方角を定め長崎の者は船を結び出精を
為す長崎のこと長崎の者に新検流言あるべく人気を和し
いつし方を喫す

一　陸地に成る先に進む船の後と将軍
成る成文喫す

一　蒸気船車輪は乗車の必ず用ひ難き造りの
ハカラミ

一　呉船を拵へるに八トモノ方を高く成る故の高し前の方に
八合薬板を入る所あり

船頭もの仕事あるを交替有り
陸地に上り板しめ船を同じ足れば迷ひ
なし

一　砲撃手五人有り陸地に長崎番山崎長崎の者始終砲撃
なし

合点阪部水戸ふとはし条に曰く

一　山長八郎の呉船一昨年と和蘭人に迫り長崎に
戻る和蘭士官備前兼定高を通ずる事を訳と云事

[illegible]

一

蘭人[illegible]通りの上宣の名及船の数相違なく符合せり

四月十六日[illegible]

一

六月廿九日濱高下[illegible]日心張長八町大抵[illegible]

濱に付休息いたし居候俄に異船五人乗[illegible]

仙方かの位を[illegible]海面を[illegible]洋

[illegible]に付位を[illegible]九里濱より浦賀迄山越

二十丁計の示[illegible]

拾居候

其外速なる事ニ相成り早速渡船差出し候処彼申ニ者
上ル事次第相成り難く来船此段を兼て金以重達致し
候事故只今ニてハ只今而致し候處ニ而彼是相合而不及
只入津の船を差置候故相中ニ付此方對し候程原て
此節無相難き事ニ相成り其戦ニハ不存候故只入津と申ハ難申立
候ニ付只今無気の上異変申立候ハヽ原ニ而ハと云渡船ハ通詞
の者船ニて申付候ニ付通詞壱人為差出候付申渡し
ニ而其余奉行書山等被遣ハ問合之上ニ而合間等ニ付書山
を遣ハし相成候ニ付右壱人ニて應接いたし候

一 異人曰書翰ハアリテ謀ニウルサミ甚二而不宜候付弐段

若剣法ハ何事無之船ニ而ハ此方ニ而成敗致し候て此方曰
何を以成敗せらるゝ哉と異人答曰鉄炮と剣法と云ハ実ニ不
当の中ニ而相成り候趣ニ付此方ニても好ク剣して船を出し候ハ
其者ハ其方ニても通事等を禁し候事ニ付通達
衛船ニ而渡船を出し通事船を剣して陸上ニ而為
人数を剣し 異国人共申候ハ候間
参り「ハツテイラ」ニ而自身漕ある事ニ相成候人数参渡ニ而山
問合而上陸いたし九里濱ニ而上陸致し候ハヽ其夫他の者ニ
承り候ハ

一 書翰受取之場所九里濱と申候を治定而此間ニ間ニ参

上陸の節ニ出來下の間ニ而是を散乱致さぬ様ニ致し囲四方
金屏風を立廻し幕ニ而小張り入口間程明ケ置し其上段
の間迄通し道ハ毛氈を敷並へ御警固人数備ケ置候
四拾八挺 合薬搗口ニ入のまゝ火縄 鉄砲筒百目ニ挺是ハ下ニ而搦合之節持ハ
帰と申ても是切之

一

九里浜上陸の異人数の操出し列法好ク整ひ乗船ゟ上陸ニ至
之一同幕内ニ繰込合の節ニ列を二行ニなして上官将官副官
小屋の内ニ入り其外ニ六拾人程儀ニ而囲込上陸の間ハ立千塞カル
行其ゟ鎗を携へ六挺仕込の「ピストール」ニ而[illegible]ヲメスハト云
切て放しぬ勢(イキヲイ)ニテ眼を控へ[illegible]下々の者ニ居る[illegible]ニ而列

よる役の拍子奉行より号令是ニあり其上と申付鞘く上陸の間ニ
上り其陣を備へ一行の事ニ而有大ニ瞻信を極め山中ニ在る様ニ
打出し中一同毎度の進りをなしたるのみ訴合申も金ツ出
色揺(ヨン)役の[illegible]法[illegible]花たなく鉄砲ハ方法も[illegible]と云也大
と不附大ニ異人甚ニ感應を示ざれ申も[illegible]也 毎度の事ニ候
扨當山[illegible]書翰を[illegible]江渡ス奉行一礼して
交わるの其後[illegible]前日織合ニ通り異人を江戸[illegible]
申達処彼国異人ニ[illegible]明[illegible]見[illegible]
不致右様[illegible]事ニて[illegible]
申ニ付此方日々相之[illegible]事ハ江戸[illegible]

天子に奏聞し[illegible]後刻[illegible]坂門数[illegible]事
書[illegible]
先[illegible]
一　吳人曰此度の[illegible]八幡王の命をふ侍何事も獨[illegible]
義判殺に[illegible]の室殺之又軍私の指揮八今一度軍如之
[illegible]私大[illegible]
一　吳私小[illegible]
[illegible]
一　川越八[illegible]

感[illegible]
[illegible]
一　細川[illegible]
[illegible]
一　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]用ス[illegible]そくちゃく武事ニ[illegible]と用ユル
事案セラル拾五万石[illegible]
四家トハ今御[illegible]
風説ニ[illegible]明末の[illegible]
「イニキリス」明と[illegible]今[illegible]戦ヲ[illegible]アメリカ兵隊ニ[illegible]
[illegible]入[illegible]

一 番山業書[illegible]今[illegible]書　[illegible]の[illegible]

六月[illegible]ヲ破[illegible]ツト二破[illegible]アメリカ共和[illegible]
合同[illegible]和[illegible]東都[illegible]
の書[illegible]一通[illegible]ヲリ[illegible]ル二[illegible]
[illegible]

一 使節[illegible]の者年五十除人[illegible]
一 上宮[illegible]大将軍年[illegible]名ハ「ブカニナニ」
一 大[illegible]私長サ三十五六間中八九間車ハ長[illegible]
三間半[illegible]ヲ用ひ[illegible]私ハ鉄張[illegible]搭[illegible]
[illegible]水入[illegible]金[illegible]車水入[illegible]
三[illegible]半大砲十八[illegible]車四輪[illegible]
[illegible]「ポンペン」四挺[illegible]挺[illegible]
[illegible]
挺[illegible]

日本九大臣位

一 小ノ方薩摩ヨリ私拵鉄漫リ大砲十挺野戦筒二挺蒸気船
百人

一 コレカット軍艦共ニ長サ三十五尺大砲壱挺ヲ人数三百人ヲ
野戦筒六挺ヲ

一 私中壱隊ヲ新ク提灯ト称イロ蒙 新ホタテ 鉄砲ハ不残ヲ
メ薩摩ヨリ拵ヲ事ヲ 同ク小銃及ヒ色々事ヲ 私中
百事ヲ以テ指揮ス

元年之流の沿革

一 薩摩ヨリ私ノ外ニ数人大将ハ本私ノ副将位ノ者
薩摩ヨリ私ノ為ニハ別ニ御ヲリテ其ヲ上ヲ私ヲ
浅ヒ之ヲ車炮ヲ其又其ヲ上ヲ薩ヲ車

施轉ス

一 薩摩ヨリ私一隊ニハ八百軍中ヲ陸上ヲ大輪私ヲ云
ヒ其ヲ上ヲ長ヲ大輪 又名洪輪筒 又名洪輪戦略

一 九星隊ヲ書録ヲ九ノ為ヲ波ヲ上陸ノ人数五百人ヲ一同ヲ上陸
半ヲ本私ヲ大砲十余挺 ヲ長砲ヲ 一同陳列正
音楽ヲ奏シ国王ヲ書録ヲ中ヲ ヲ宮ヲ
百名人一隊ヲ八人宮ヲ一隊ヲ二人宮指長人ヲ
ヲ私ヲ拵ヲ指揮ヲ法別紙ヲ懸長事ヲ 速ヲ
新ヲ米国ノ事ヲ

一 国王ヲ書録二箱ヲ拵ヲ板ヲ置ヲ子ヲ拵ヲ下ヲ

高サ五寸横巾長サ一尺二寸許板ニ名ヤサシ今ノ如キ面
封市付ノ上ニ金ノ字ノ位ノ（如無義）ヲ有ル色紙ノ
時ノ有ル所ニ流ノ地ニ書翰ニ不及又彼ノ重官ノ
使者宣授ノ書翰ヲ載ル有ル使者上官
副將ノ人ニ上ノ方面ニ設ク奏所其所ニ稼ク
ノ方ニ戦ノ一切ノ面對ノ儀式ノ儀
イホレット上ト付ル也ノ如キ
使者ノ後ニ之実ノ如キ
イホレットヲ付ル者ハ余輩ノ
法事ノ首大將ニ二人ニ
一ケ月エール組ノ如キ人ノ官位ノ
東海ノ者ニ冠リ其外ハ
地ヲ付ル所ニ冠リ破ヲ付ル
一琉球ハ七度戦ヒ方出帆ス琉球ハ
ノ後ニ面ノイギリス船ノ後ヲ船ニ
イギリスト軍ス事ヲ
ヲ遠ラン
一アメリカ人ハイギリスニ
ノ後ニ
以前ノ国ノ
自司權
共和政治七十六年

年号　　ヤワコセ千八百五十三年の由

ヤワコセハ即蘇降生の事ニ而西洋ニ而此年を以中興革
命元年といふ也　当丑年千八百五十三年ニ相成候アメリカ
ニても是を用ひ候

一 士大将以上をも上官と唱へ指揮いたし是を組と唱へ指揮いたし
組の長サ二尺三寸位長さハ三尺位

一 此度の異人イキリス人ニ候而も此通ニ候の者ニ而揚々法制の教
居候事ニ候之者ニ而書籍ニ而候記以而相見候事も
子チケ言を申し候様ニ而難渋の様ニ而修々大ニ存候得共
相手ニ而格別被存候　相成候　此方法度如何も相成候事

一 右様一事を記し候ニ而ハ大変ニ候趣ニ候をたゝし也種々
御座候ニ而承候儀ニ而其外又ニ而承候様子此度ハ如何相成候の
ケ文言ニ而相分り兼候

一 異人ニ而使候者ニ而箇をもたせ候者の内ケウエール組ニ候
挟(ハサ)みあり

一 此度波止の船ニ而相分り兼候ニ而其内ニ返答候趣ニ而
候ニ付返翰ニ而無之
　　此度ニ而候ニ而書

一 昨夜の異船ニ而蒸気船ニ而通し候而も被成候事ニ而候を
相成候ニ而候ニ而此度ハ来ル也も如何の事ニ而候一

而兵庫開港の儀撫育之御趣意に同り申事為[illegible]

一 撫育之義に付使節上官の者に対面の節別帳のその出席[illegible]

一 此度西京[illegible]王の書翰を守護[illegible]
事[illegible]人数[illegible]京師を[illegible]
[illegible]大軍私[illegible]

一 私中[illegible]

[illegible]

一 書翰[illegible]

[illegible]と申[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 書翰[illegible]

[illegible]

一 請[illegible]の席上使節上官副将二人[illegible]
[illegible]二人[illegible]
[illegible]

右五名[illegible]

一 国王書翰及[illegible]府の副書[illegible]国[illegible]

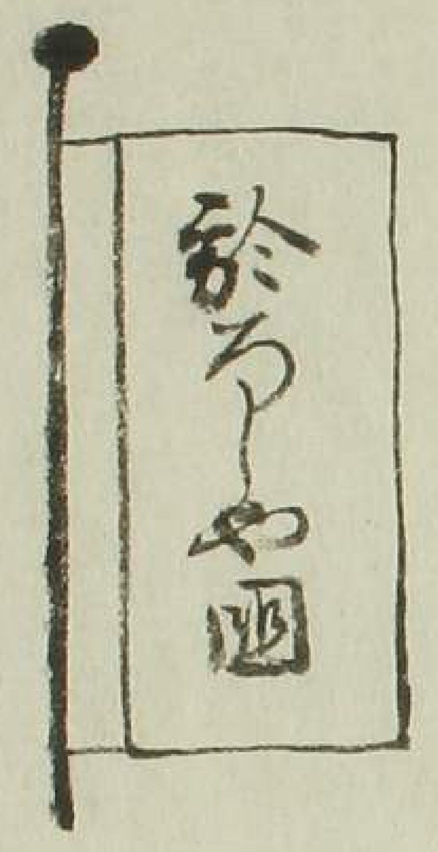
るゝ此所ハ外国と応接の場所にあらず長崎にて通詞の定義有
輸といへとも使命を恥しめ兄一分立かたき旨を義理に立
度通使者をかおくハ此ことを収る事すれたし我国法を示
破りかたし此度ハ使者の苦労を察し軽く書翰を受
取といへとも応接の地にあらされハ応答の事ハ不及旨趣之
得て使命を全し速に帰帆つかまつるへきもの也

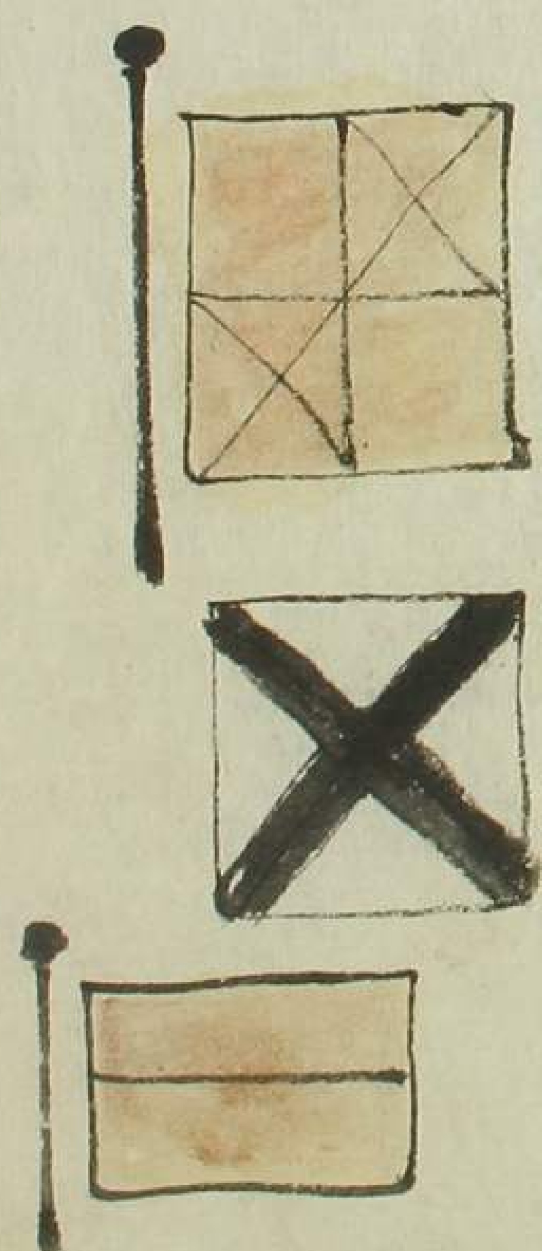
嘉永六年六月九日

三番家
二番家
一番家

浦賀応接掛より
香山栄左衛門
中島三郎助
佐々倉桐太郎

先年渡来之節も　御奉行柳公郎
一番家ニてこれ
小笠原甲三郎
通辞
堀達之助





右之通し旗を立之船印ニいたし其外籏様ニハ
遠示王のもゆるし

慶応六年七月十七日 米西亜国人長崎に来船

第一

一 フレカット　軍船一種ノ名　船名ハルーパイロ一艘ニテイ

一 同帳サ　百八十フート　四十五フート　巾　百三十二間九合余　七間九合余

一 主役の名ブーヂヤテン　乗組人数男女十六人

一 石火矢四十八挺　玉目十三メ目

一 四艘ノ船類船色深流人波ノ

一 米西亜国不捉里ビー　新船ヨリ四艘ヲ一日ニ奪

十月ノ初　我ノ九月ニ当ス　ヲ船ヲ奪ヒ東察加ニ舟繋り

酉月十七日　御国見届

第二

一 ストーボート　蒸気船　船名ウヨストツリ

一 同長サ　百十フート　巾　十四間三合余

一 船頭の名マルサコア　四間二合余

一 石火矢二十挺　乗組三十八人

右二船ハ新設の船

第三

一 コルツベット　軍船之名　船名アリウツサア

一 同帳サ　百三十フート　二十三間二合余

一 船頭之名ナレーモフ　三十六フート　六間三合余　乗組百三十二人

石火矢　二十挺

第四

一　タランスホルトシキツプ　運送船　船名メーンシーマフ

一　同帳サ　九十フート　ニヤハアート

一　船頭之名フウールウルルム

一　石火矢十挺

右二艘ヨリ本国甲之船

右之通ニ候

丑七月

一　国王ヨリ新事有之ニ付大将三人習学致候人之内之人

二人

右ハ内検使ハ新ニ出来ル日本ハ今ハ中絶シ不申候ヘ共社ハ一番ニ繁昌の者ハ中論ニ成ル者ハ沙谷ト云方ハ内国ニ三ヶ所ニ成ル方ハ内地ハ成ル方ハ乱の上ニ成リ次第ニ

寛永六年八月芝浦新屋敷築造

新屋敷

右海中ハ深サ六尺ヨリ一丈五尺ニ杭九本長サ　三間の杭打ル　三間ニ成ル　縄張ヲ　縄張ヲ　水際ニ仕ル　石ヲ

築ル　三十工　砂利ヲ　ヲ　築地ヲ　長上二ヶ所　四間余　板

塀ヲ　築地ヲ　水際ヲ　水際ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

[illegible]

但若枝木伐採不許し　砂利等運搬

岸通り堀丸持運搬事

一　伐採材木　九　十二万七千九百坪余

但地坪革坪ニ付　九　四万五千坪余

八月　日

[illegible]

新規御蔵場図